

# 第32回「議員と語りかい」報告書

2班 (No.1)

開催日	令和元年11月13日(水) 午後7時～8時30分		
開催場所	溝辺総合支所	参加人員	15人 (男14人:女1人)
団体名	三縄地区自治公民館、陵北地区自治公民館、水尻・横頭地区自治公民館、大川内岡地区自治公民館、瀬竹地区自治公民館、下有川切門地区自治公民館、石原地区自治公民館、上石原地区自治公民館、永尾地区自治公民館、曾我地区自治公民館		
出席議員	松枝 正浩、鈴木てるみ、徳田 修和、前島 広紀、松元 深、蔵原 勇		
役割分担	班 長 ( 松元 深 ) 副班長 ( 徳田 修和 ) 記録係 ( 鈴木てるみ )		
テーマ及び具 体的な内容	・地域の課題について		

意見交換での 主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆伊集院蒲生溝辺線の道路ができてから、狭い道路を頻繁に車が通るようになったので、拡幅できないか。 ◇職員と現地を調査した。まちづくり計画書にも新たに提出されたとのことなので要請をしていきたい。
	◆中山間地域の人口減少と耕作放棄地の対策について伺いたい。合併して10年が経過した。合併せずに単独を選択した市町村に比べて人口減少が加速傾向にあると思う。人口減少と少子高齢化が進行し耕作放棄地も急速に進んでおり、このような状況のなか市の財政も厳しさを増し考える時期にきている。行政サービスの維持や地域活性化のための対策について、一人一人の考えを伺いたい。 ◇それぞれの考えを発言。
	◆高齢者の心の拠り所として、長屋式の住宅・シェアハウスのようなものを作ってはどうか。 ◇高齢化社会の課題として受けとめさせていただく。公共施設も民間の力を借りてサービスの充実を図っていくような状況もある。今後、勉強をしていきたい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆溝辺加治木線の道幅が狭く危険であり、拡幅できないか。

◇県道であるため県へ要望をしたい。

◆近年、高齢者の方々の運転免許返納が増えている。その場合の交通手段としては、ふれあいバスやデマンド交通が運行されている。ふれあいバスの乗客が少ないために税金の無駄使いではないかという意見もある。良い方法がないかをみんなで検討する機会が必要ではないか。

◇ふれあいバスの利用は少ない状況である。意見を持ち帰り、今後しっかり取組んでいきたい。

◆経済産業省が超小型電気自動車の購入補助金を検討しているとの報道があった。高齢者の移動手段としても有効であると思うので、霧島市も補助金を検討できないか。

◇国の補助制度の動向を見守っていきたい。

◆議会だよりの字が見えにくい。もっと工夫してほしい。

◇貴重な意見として、今後の紙面作りに生かしていきたい。

意見交換での主な意見等